

授業科目

呼吸系構造・機能・病態

担当教員名 佐藤 克郎	対象学年	2	対象学科	言語
	開講時期	前期a	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	○	

授業の概要

呼吸器の構造と機能・病態について概説した後、呼吸を利用する発声と構音のしくみ、ならびにその障害について学習する。

授業の目的

呼吸器と音声に関する基礎知識を理解して、言語聴覚士の臨床に応用できる知識を得る。

学習目標

講義内容を整理し、理解して、説明できるようにまとめる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	呼吸器の基本構造	講義	佐藤 克郎
2	呼吸運動	講義	佐藤 克郎
3	呼吸機能検査	講義	佐藤 克郎
4	主な呼吸器疾患	講義	佐藤 克郎
5	発声・構音器の基本構造、音声の生理	講義	佐藤 克郎
6	音声障害と疾患、構音とそのメカニズム	講義	佐藤 克郎
7	構音障害と疾患	講義	佐藤 克郎
8	まとめ	講義	佐藤 克郎

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	言語聴覚士のための講義ノート 音声系肺・喉頭・咽頭・口腔科学 －呼吸発声発語系の構造・機能・病態－	中野雄 一	考古堂	2010 年	2,000円 +税	
参考書						
その他の資料						

評価方法

学習状況と定期的試験から評価する。

履修上の留意点

学習ノートは学問体系を知る上で重要であり、作成には工夫が必要である。

オフィスアワー・連絡先

katsuro-sato@nuhw.ac.jp (まずメールにて連絡をしてください)